

お詫びと訂正
「ニュースあすなろ」
の一面の記事の3~4
段目の語句の一部が
誤って挿入されています。
網掛けの部分は正
しくは矢印の通りで
す。お詫びして訂正し
ます。

発生し始め、市民の間には不安が広がり、学校等の一斉休校、さらに、市内医療機関は体制も万全でない中で未知のウイルスとの闘いに日々追われていました。医療機関は、流山市に支援を求めました。が、市は予算がないと拒否。金額にしてたった75万円です。市長の1か月分の報酬より少ない額なのに、なぜ補助しないのか。感謝の言葉を述べるべきです。

しかしみなさん、流山市の令和元年度の不用額（使わずに残つたお金）

3段目↑

4段目↓

2月には、医療機関への消毒液や、マスクの貸与を決めた流山市です。

9500万円も残しておきながら、なぜ貸与なのか。また、2月3月に市内医療機関が行つてきた検体採取、保健所からの指示で行つたP C R 検査だけで約50件の補助もかたくなに拒否。

詳しくお知りになりたい方、ぜひ議会報告会においで下さい。植田和子

はナント19.億5700万円もあつたのです。
児童福祉費、社会福祉費、保健衛生費という分野が予算を多く余らせたのです。まさに、命に関わる感染症対策に直結する分野に税金が使われずに残りました。特に、保健衛生費の予防費で不用額が9500万円も出るとは異例中の異例でした。